



こだち News

巻頭言

公認心理師になるには

野島 一彦（跡見学園女子大学）



・2016年度 上半期事業報 告とお願い ・研修会のご 案内	2
・「現場で使 える臨床動作 法2016」の ご報告 ・歴史的名著 を読む	3
・フリース ペース事業 「ここりー と」のご案内	4

理事長：
黒木俊秀
顧問：
田嶋誠一
事務局長：
中村俊夫
相談室長：
増田健太郎
心理臨床部長：
山口雄介
事務局員：
香野有咲
高橋大樹
柳 裕哉
山室香理
準事務局員：
田中将司
牧山翔子

2015年9月に公認心理師法が成立・公布されました。2017年9月までに施行されます。2016年4月に指定試験機関は日本心理研修センターに決定しました。カリキュラムと経過措置を決める「公認心理師カリキュラム等検討会」は、9月20日（第1回）、10月4日（第2回）に開催されました。今後はワーキングチームで6回ほど細かな煮詰めを行ない、来年初めの数回の検討会で最終的取りまとめが行われることになっています。この会議は公開で開催され、議題等、資料等は厚生労働省の次のURLに掲載されています。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-syougai.html?tid=380707>

公認心理師試験の受験資格は、「正規ルート：3コース」と「経過措置ルート：4コース」（経過措置期間は5年間）の2ルートがあります。

「正規ルート」の（1）メインコースは、2018年度に学部に入學し、さらに大学院に進學して省令で定められた科目を履修し、2023年度に修了する人たちが受験できます。それで2024年に「正規ルート」の公認心理師第1号が誕生します。（2）バイパスコースは、2021年度に学部を卒業し、その後数年間の実務経験を積んだ人たちが受験できます。（3）第3のルートは、海外で心理の専門資格を得てきた人たちが受験できます。

「経過措置ルート」は、次の4コースです。

（1）実務経験5年以上の人たちは＜講習会＞を受けて受験できます。ベテラン、中堅の臨床心理士等がこれに該当します。第1回の試験は2018年に実施され、「経過措置ルート」の公認心理師第1号が誕生します。（2）施行前に大学院において省令で定める科目を履修（又は履修中）の人たちも受験できます。2017年9月以前に大学院を修了した人たちが、大学院に在籍している人たちがこれに該当します。つまり実務経験5年未満の若手の臨床心理士、現役院生等です。（3）施行前に学部において省令で定める科目を履修（又は履修中）の人たちで、施行後に大学院で省令で定める科目を履修した人たちも受験できます。2017年9月以前に学部を卒業又は在籍し、かつ大学院を修了した人たちがこれに該当します。（4）施行前に学部において省令で定める科目を履修（又は履修中）の人たちで、施行後に数年間の実務経験を積んだ人たちも受験できます。

カリキュラム、経過措置の具体的なことは今年度末くらいまでに「公認心理師カリキュラム等検討会」で決定されますので、前述のホームページでその内容については確認し、対応していく必要があります。



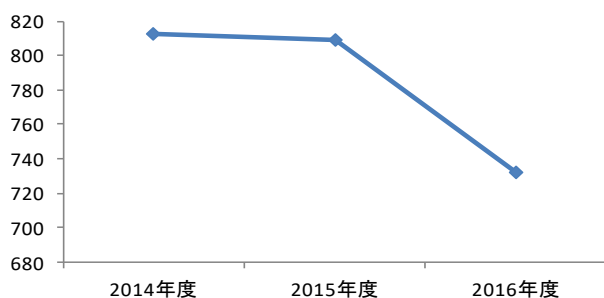
2016年度 上半期事業報告とお願い

例年、5月の総会で1年間のご報告のみをしておりましたが、今年度は上半期のご報告をいたします。

その一番の理由は「こだちは経営がかなり厳しい」ということをみなさまにお伝えしたいからです。2013年度以降、3年連続の赤字が続いており、それ以前もほとんどが赤字決算でした。

主要事業である臨床心理サービス事業のカウンセリングルーム「こだち」では、平成28年4月～9月（上半期）の面接件数はのべ732件で、昨年度の809件に比べると10%減少しています。実働しているケース数自体も少なく、また新規受付も減少しています。フリースペース事業「ここりーと」については現在利用者1名のみとなっています。家庭学習支援事業は、2016年度上半期は利用者数が多く、増加に転じています。

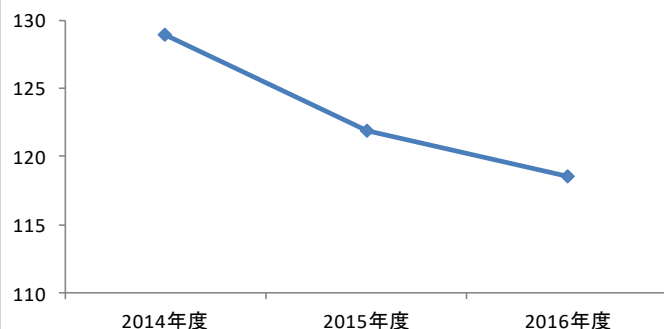
面接件数(上半期累計)



研修事業では、毎回好評をいただいている会もある一方で、研修会によっては参加者数が定員に達せず、今後の継続した開催の可否について検討しなければならない状況に陥っています。

最も大きな課題となっているのが、会員数の減少です。2016年11月現在、正会員236名、準会員29名、学生会員116名、賛助会員15名（個人会員）10

会費収入(単位:万円)



団体（団体会員）です。2014年度の会費収入が約129万円だったのに対し、2015年度は約122万円、2016年度（上半期）は約119万円と、年々減少傾向にあります。会員数が減っているということは、こだちのことを知っている人、活用しようとしてくださる人が減っているということを意味します。これはカウンセリングや研修事業の利用者数にも直結する大きな問題です。

こだちでは、これからの下半期に向かい、日頃の臨床心理サービスの一層の充実と、ニーズに応える研修会の実施に力を注いでまいります。目下のところでは、ご要望の大きかったロールシャッハテストの基礎についての研修会を新設することを検討しています。

この記事をお読みいただいているみなさまには、今後も一層のお力添えをお願いしたく存じます。現在会員でいらっしゃる方は、継続して会員となっていただくこと、周囲の臨床心理士をはじめとする対人援助職の方にご紹介いただくことをお願いいたします。また、現在会員でない方、職場などでこの記事をお読みの方は、どうぞ会員になっていただき、今後の社会貢献のため、ご協力くださいますようお願いいたします。

研修会のご案内

〇ころ研ABC

～基礎から学ぶロールシャッハ～

日 時 第1回 2017年2月12日（日）9時～12時
第2回 2017年3月5日（日）9時～12時
※両日参加必須
会 場 九州大学西新プラザ 中会議室
講 師 船津 文香先生
対 象 臨床心理士、あるいは現場の心理職の方
定 員 30名
受講料 会員8,000円 非会員10,000円

〇こだち精神医学講座

～精神医学とそれぞれの現場との連携～

日 時 2017年2月26日（日）10時～17時
会 場 九州大学西新プラザ 中会議室
講 師 三木 浩司先生（小倉記念病院）
対 象 臨床心理士、または現場の心理職の方
定 員 30名
受講料 会員8,000円 非会員10,000円

※詳しくは案内のチラシ、またはこだち事務局（092-832-1345）まで。

「現場で使える臨床動作法研修会2016」のご報告

2016年9月25日（日）に九州大学総合臨床心理センターにて、当法人主催の研修会「現場で使える臨床動作法研修会2016」が開催されましたので、研修会の模様をご報告いたします。講師は成瀬悟策先生（九州大学名誉教授）や大場信恵先生（九州大学大学院人間環境学府）など7名でした。34名の方にご参加頂きました。

講義

一つ目のプログラムは成瀬先生による動作法についてのご講義でした。「なぜ、“こころ”を“からだ”で治すことができるのか？」という他の心理療法と動作法の大きな違いを始めとして、動作法の理論について、明快にお話ししてくださいました。また、参加者の方とのディスカッションの時間を設けてくださって、参加者の素朴な疑問に丁寧にお答えくださいました。

実技

成瀬先生と参加者の方によるデモンストレーションを拝見した後に、参加者同士でペアを作り、講師の先生方にご指導頂きながら動作課題に取り組みました。参加者の皆様はペ



アの方と話し合い、お互いの動作についてフィードバックしながら、動作法を習得しようと意欲的に取り組まれていました。

事例検討

事例発表者は講師の横尾摂子先生（緒方良神経科クリニック）でした。現場で動作法がどのように用いられているかがよくわかる事例でした。初学者の方もベテランの方も忌憚なく意見を述べられ、活発なディスカッションが行われました。

参加者のご感想には、「これまでは実技中心の研修が多かった為、疑問をそのままにしていることが多かったのですが、それらを少し解消することができた気がします」などがあり、より深く動作法を理解して頂くことができたようです。



連載 歴史的名著を読む～臨床心理学とその周辺～

第2回 「老子」（生没年不詳）

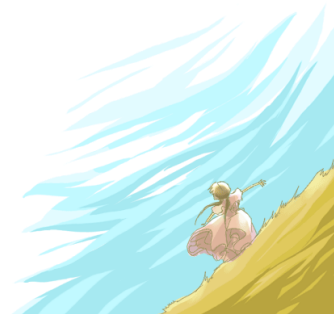
この連載の第2回で取り上げるのは、紀元前の中国に生きたとされる思想家・老子の言葉をまとめた「老子」です。生没年はおろか、本当に存在したかどうかははっきり分らないのですが、その思想は現代にまで脈々と語り継がれて生きています。

「孔子」には、立身出世や品行方正にまつわる厳しくも真っ直ぐな教えが説かれているのに対し、「老子」では、あるがままの姿や柔軟なありようについて重視されます。作為的な小賢しさや権威的な支配は実に小さなこととして嫌い、もっと大きな宇宙の流れに身を任せる「道（タオ）」と呼ばれるものを目指すのが特徴的です。

人の心について、それは水のようなものであるとたとえられています。円い器に入れば円く、四角い器に入れば四角に。「主とならず客となれ」の通り、あたかも主体がないかのようにありながら、岩

や堤防を砕くしたたかさも備えています。また、美しいものも汚れたものも受け入れ、平然として止め処なく大海へと流れていく、この大らかさ。

このいかにも自己一致した実に理想的な生き方の教えは、シンプルでありながら追い求めることはとても難しいものです。否、「かくあるべし」と追い求めようとすれば、それはすでに道を外れたことになるでしょう。「理想を追い求めない理想」。この二律背反を抱えながら、しかしそんなことさえも森羅万象の中では小さなことであると思い知ったときに、自己一致の極致ともいえるものが得られるのではないのでしょうか。



フリースペース事業「ここりーと」のご案内

◆新しいメンバーとなってくれる子どもたちを待っています◆

子どもたちの居場所、隠れ家のひとつとなれるように、という思いを込めて開設された『ここりーと』
ここりーとでは、無理をせず、他愛もない話をしたり、遊んだり、
うたた寝をしたり、好きなことをして、自由に過ごせる空間を大切にしています
現在は、ここりーとを巣立っていた子どもたちも増え、少人数の活動となっておりますので
初めての場や集団に対して不安や緊張があるお子さんにも過ごしやすい場となっています
見学や体験もできますので、関心がおありの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください

【活動日時】毎週金曜日（祝祭日を除く）の13時から16時

【対象者】10歳から20歳まで

【ご利用料金】一律 月5,000円

ご要望に応じて、上記以外の曜日や対象年齢外の方のご参加も検討します



春のガーデニング体験
夏野菜やひまわりを植えました



夏の流しそうめん祭
お天気に恵まれず、屋内で涼しく
快適に流しそうめんを頂きました

○入会のご案内

こだちは今年で10年目を迎えます。地域に定着した心理臨床サービスを継続するには、収支の安定が求められます。NPO法人の会員となって私たちの活動を支援いただけると幸いです。会員になっていただける方はぜひこだちまでご連絡ください。なお、**会費は1年毎の更新制です**。よろしくお願いいたします。

○ご支援のお願い

当NPO法人では会員以外の方からも、ご寄付をおまちしております。関心や興味をもたれた方はぜひご連絡ください。

編集後記

公認心理師への関心が否応なく高まります。そこにあって、臨床心理士は何をするのか、誰にかかわるのか、何が求められているのか、模索する日々が続きます。（Y）



特定非営利活動法人 九州大学こころとそだちの相談室

〒814-0002

福岡市早良区西新2-16-23 九州大学西新プラザ内 産学交流棟

TEL 092-832-1345 FAX 092-832-1346
HP <http://kodachi.or.jp/>